

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1 活動テーマ

<テーマ>

粘土

<テーマの設定理由>

色々な粘土を使用することで、粘土の違いに気づき、粘土特有の段々と転回しながら作品が出来て、園児同士の会話を楽しみながら、探究することができる

2 活動スケジュール

実践月	実践日	テーマ	対象学年	内容
9月	24日	油粘土で自由遊び	全学年	<ul style="list-style-type: none"> 様々な粘土を知り、実際に持ち、触り感触を感じながら自由に遊ぶ 友だちと会話を楽しみ、いっしょに作る楽しさを味わう 充分遊んだ後、片付けをする
10月	16日	紙粘土で製作	全学年	<ul style="list-style-type: none"> 2種類の紙粘土で硬さ・重さ・触り心地を知る 2種類の紙粘土で作品を作る 油粘土との違いに気づく
10月	30日	紙粘土で製作	全学年	<ul style="list-style-type: none"> 前回の続きを行う 2種類の乾燥し乾いた紙粘土の重さを知る 自分の絵具セットで好きなように色を塗る
11月	13日	小麦粉粘土作り	年長	<ul style="list-style-type: none"> 小麦粉と片栗粉を水溶かし違いを知る 小麦粉に色付けの食紅を用意し粘土を友だちと協力し作る 出来上がった粘土で会話を楽しみながら作る
11月	13日	小麦粉粘土	全学年	<ul style="list-style-type: none"> 年長児が作った小麦粉粘土を使用する 好きな色の小麦粉粘土で好きな形や物を作る 色のついた粘土を混ぜたりし、新たな色の粘土ができる
11月	18日	作品展示会	全学年	<ul style="list-style-type: none"> 紙粘土で作った作品を保護者の方に見てもらう 作った作品の説明を聞きながら、親子で会話を楽しむ 各学年の作品をみってもらう
12月	11日	陶芸製作	全学年	<ul style="list-style-type: none"> 陶芸の土で作品を作る これまでの粘土との違いを感じながら作品を作る 竹串などの材料を使い模様を描く 乾燥する時の色の変化を見る 乾燥後、釜で焼く
			年長	<ul style="list-style-type: none"> 色付けし、ニスを塗り仕上げる
1月	10日	お茶碗作り	年長	<ul style="list-style-type: none"> 陶芸の先生の前、親子で作る 陶芸の先生の指導で、信楽焼きの抹茶茶碗を作る 焼き、色付け、仕上げは陶芸の先生にお願いをするので、仕上げを楽しみに待つ
2月	15日	作品展	年長	<ul style="list-style-type: none"> 自分で作ったお茶碗で茶道をし、お茶を頂く 保護者も出来たお茶碗を楽しみに茶道を拝見する 陶芸の先生が色付けし焼いた茶碗を見る
通年		粘土遊び	全学年	<ul style="list-style-type: none"> 自由時間や室内遊びで行う 友だちと会話を楽しみ、いっしょに作る楽しさを味わう 好きな形、好きな大ききで作る

3 探究活動の実践

<活動の内容>

活動のために準備した材料や道具、環境の設定

- ・ 活動のため、粘土(油粘土・紙粘土・軽量紙粘土・テラコッタ・信楽・小麦粉)を用意した。
- ・ 活動内容は、粘土を使って自由に形にすることで探究心が芽生え、さまざまな粘土を使っていくうちに粘土の使い方や種類によって違いを園児自ら気づき、その素材を生かして作品の違いが見られた。
- ・ 活動中の園児たちは、最初の触感を保育者に伝え、粘土の「自由」な動きを生かし、子ども同士で会話を楽しみながら、粘土を使って遊びの展開をしていた。
- ・ 作品が完成するたびに、園児が嬉しそうに作った作品を教えてくれたり、園児が粘土に関して気づいた言葉をひろい、「なんでだろうね。」「なんでかな?」と問いかけ会話をしていくにつれ、園児から、さまざまな発想した言葉を聞き出していた。



4 振り返り

- ・ さまざまな粘土に触れて楽しむことで、粘土の特徴を園児たち自身が気づき、粘土遊びや作品を作ることができていたことに気づくことができた。
- ・ 一人で黙々と粘土遊びをする園児や友だちと会話を楽しみ遊びの展開をしながら形を変えていく姿を見ることができた。
- ・ 園児の発想を教諭も共感しながら進めていくことでより、遊びのアイデアを生み出し楽しむ姿を見ることができた。